

首都直下地震等の災害発生時における被害状況の早期確認及び対応のため

本社に自動二輪車を配備します。

東京メトロ（本社：東京都台東区 社長：奥 義光）では、このたび、首都直下地震等の災害が発生した場合において、鉄道施設や地上部の被害状況等を機動的に情報収集し、対策本部で適切な対応ができるよう、自動二輪車 4 台を本社に配備いたしました。

首都直下地震等の災害発生時には、本社社員がこの自動二輪車を活用して鉄道施設や地上部の被害状況等を把握し、本社からその駅までの歩行可能なルートを事前に確認することで、確実に本社から人的応援が可能となります。また、その後も継続的かつ機動的に多くの情報を収集し、対策本部に報告することにより、これまで以上に的確に状況を判断し迅速に対応することが可能となります。

当社では、今後も東日本大震災を教訓に首都直下地震等に備えた対策を推進し、お客様の安全・安心の確保と首都機能の早期回復に努めてまいります。



〈仕様〉

車 種：ヤマハ「SEROW250」

排気量：250 c c

特 徴：行政機関で導入実績がある車種であり、転倒時に運転者を守れるよう、各種装備を追加しています。また、ナビゲーションシステムを全車に搭載し、機動力を高めています。

〈本社に配備した災害用自動二輪車〉